

市民意見聴取に係る施策の概要

案件名: 尼崎市総合計画(第6次)の策定について

局課名: 総合政策局 政策部 都市政策課

施策の目的	本市のまちづくりの基本的な方向性を示す総合的な指針である尼崎市総合計画(第5次)(以下「現総合計画」という。)が令和4年度末をもって計画期間の終了を迎えるにあたり、新たなまちづくりの指針として第6次となる次期総合計画を策定する。
現状・背景	<p>○人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響により社会の仕組みが変化しているなか、令和4年度末で現総合計画の計画期間が終了するにあたり、本市としては引き続き、まちづくりの羅針盤として総合計画を策定する必要があると考えている。</p> <p>○総合計画は、市民、事業者、行政がともにまちづくりを進めていくためのよりどころとなるものであり、市民ニーズや地域の課題も多様化している現状においては、これまで以上に共有化を図り、協力してまちづくりに取り組む必要が生じている。</p> <p>○総合計画の推進にあたっては、その進捗管理をいかに市民・事業者と共有しながら進めていくかが重要であり、施策評価を通じて「まちの通信簿」を作成し、公表している。また、施策評価を中心にPDCAサイクルを意識したまちづくりを進めてきており、その積み重ねた成果と課題を次期総合計画につないでいく必要がある。</p>
施策の策定にあたっての考え方	<p>○PDCAサイクルの積み重ねにより進展してきたまちづくりの総括として、次につながる視点を盛り込みつつ、「次期総合計画策定に向けた第5次尼崎市総合計画の点検」(以下「市点検」という。)を行い、尼崎市総合計画審議会からの意見を聴取した。</p> <p>○次期総合計画については、そうした点検結果を踏まえ、市民や事業者など、様々な主体と共有でき、ともにまちづくりを進めるためのビジョンとなるよう策定を進める。</p>
課題	<p>市点検とそれに対する尼崎市総合計画審議会からの意見を踏まえた課題認識は以下のとおりである。</p> <p>○人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響等により社会の仕組みが変化しつつあるなど、将来を見通すことが困難な状況の中での時代認識について</p> <p>○普遍的でありながらも、そのなかに尼崎らしさを組み込んだまちの将来像について</p> <p>○ともにまちづくりを進めていくうえで必要な項目である「市民・事業者に期待する役割」のあり方を含め、市民・事業者とビジョンを共有しつつ市民参画を促進する手法等について</p> <p>○PDCAサイクルから見てきた成果と課題を踏まえつつ、施策体系や計画期間中の主要取組項目、各施策の展開方向等について</p>
意見を聴取するポイント	<p>○【まちづくり構想】</p> <p>普遍的でありながらも、そのなかに尼崎らしさを組み込んだまちの将来像について まちづくりのビジョンとしてのわかりやすさ、共有しやすさについて など</p> <p>○【まちづくり基本計画】</p> <p>施策評価を中心としたPDCAサイクルに基づく今後の施策の展開方向について など</p>
市民意向調査(ステップ2)の実施手法	<p>実施手法及び実施時期</p> <p>①ネットアンケート(令和2年11月頃)</p> <p>②市民アンケート(令和3年2月頃)</p> <p>③タウンミーティング(令和3年2月頃)</p>
お問い合わせ先	<p>総合政策局政策部都市政策課 〒660-8501 兵庫県尼崎市東七松町1丁目23番1号 本庁北館4F</p> <p>電話番号(TEL)06-6489-6138</p> <p>ファクス(FAX)06-6489-6793</p> <p>メールアドレス(Eメール)ama-seisaku@city.amagasaki.hyogo.jp</p>